

科目名	経済学 B Economics B	科目コード	10446
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）、鈴木 敏紀（上越教育大学）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	西川潤著『世界経済入門』岩波書店、青才高志編著『現代経済の解読』御茶の水書房（2010）
補助教材	プリント、ウェブ・ページ、プレゼンテーション
参考書	櫻井毅監訳『女性経済学者群像』お茶の水書房（2008）など授業中に指示

【A．科目の概要と関連性】

- ・グローバル化と地域化を概観し、世界貿易、多国籍企業、国際通貨体制、人口・食糧・エネルギー・資源の問題、環境問題、南北問題、地域紛争問題を考察する。
- ・社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察し、社会経済についての alternative な市場至上主義的でない理論、社会システムの経済体制論を把握して、福祉国家体制など将来のあるべき社会体制論を展望する。

関連する科目：法学、社会学、歴史学（以上前年度履修）、経済学 A（前期履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
現代の社会経済の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。	10%	(a1)
市場経済と外部との関係を考察し、alternative な理論を理解する。	30%	(a1)
グローバル化と世界経済の構造、およびそこから生成する諸問題を理解する。	60%	(a1)

【C．履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験【75%】、レポート等【25%】

【E. 授業計画・内容】

後期

回	内容	備考
1	アダム・スミスの娘たち：ウェット夫妻の社会福祉の組織・制度・行政論とフェミニズム；まとめと質問	担当：佐藤
2	市場経済と外部：政府経済，家計経済，市民社会経済、社会システムの経済とフェミニズム/ジェンダー：ピアトリス・ウェット；まとめと質問	担当：佐藤
3	市民的民主主義と市場経済：社会民主的福祉国家体制：福祉国家論；まとめと質問	担当：佐藤
4	グロ - バリゼーションと福祉国家（1）；まとめと質問	担当：佐藤
5	グロ - バリゼーションと福祉国家（2）；まとめと質問	担当：佐藤
6	グローバル化と政府の役割	担当：鈴木
7	グローバル化と軍事化	担当：鈴木
8	グローバル化と海外投資	担当：鈴木
9	グローバル化と多国籍企業	担当：鈴木
10	世界人口はどうなる	担当：鈴木
11	食料問題のゆくえ	担当：鈴木
12	エネルギーと資源	担当：鈴木
13	工業化と公害・環境	担当：鈴木
14	南北問題と地域秩序	担当：鈴木
-	学年末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	担当：鈴木